

令和5年度静岡県登録販売者試験における前半問24の取扱いについて

前半問24については、以下の理由により全員を正解として採点した。

対象となった問題

問24

かぜ薬（総合感冒薬）に配合される成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a ヨウ化イソプロパミドは、抗コリン作用により鼻汁分泌やくしゃみを抑える作用を示す。
- b アスピリン（アスピリンアルミニウムを含む。）は、15歳未満の小児に対しては、いかなる場合も一般用医薬品として使用してはならない。
- c フルスルチアミン塩酸塩は、粘膜の健康維持・回復を目的として配合されている場合がある。
- d グアイフェネシンは、体内での起炎物質の産生を抑制することで炎症の発生を抑え、腫れを和らげる。

	a	b	c	d
1	誤	誤	正	正
2	正	誤	誤	正
3	正	正	誤	誤
4	正	正	正	誤
5	誤	正	正	正

採点上の取扱い

全員を正解として採点する。

理由

試験問題の作成に関する手引きには、かぜ薬の主な配合成分等として、「かぜの時に消耗しやすいビタミン又はビタミン様物質を補給することを目的として、粘膜の健康維持・回復に重要なビタミンC、ビタミンB<sub>2</sub>、ヘスペリジンや、疲労回復の作用のあるビタミンB<sub>1</sub>（フルスルチアミン塩酸塩）等が配合されている場合がある。」（一部略）という記載があり、記述cは誤りとしていたところ、一方で栄養機能として、「ビタミンB<sub>1</sub>は、炭水化物からのエネルギー産生と皮膚と粘膜の健康維持を助ける栄養素です。」という記載もあり、記述cについて正誤の判断ができないおそれがあり、正しい選択肢が一つに特定できないため。